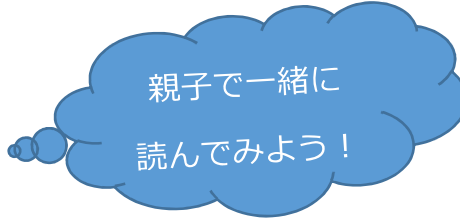


「夢」通信



令和3年3月
発行：CS未来委員会

12月にはアンケートへのご協力ありがとうございました。結果から読み取れる実態や課題などを未来委員会で検討しまとめましたのでお知らせします。今年度は特に、大変多くの保護者のみなさまから回答を寄せていただくことができました。(令和2年度：88%、令和元年度：76%、平成30年度：83%)このアンケートがさらなる学校改善と地域に開かれた学校づくりにつながりますよう、ぜひ親子で一緒にお読みください。

アンケート回答数

種別	1～3年生	4～6年生	保護者 (回答率)	教職員	CS理事
回答数	143名	137名	254名 (88%)	20名	10名

凡例

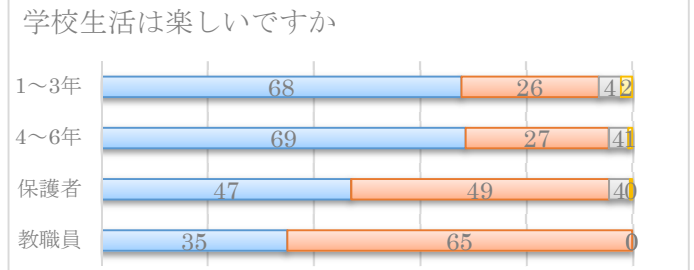
- 4：かなりそう思う
- 3：どちらかといえばそう思う
- 2：あまりそう思わない
- 1：全くそう思わない

以下の表およびグラフ中の数字は%

1. 学校生活について

楽しさ	【1～3年】学校は、たのしいですか
	【4～6年】学校で生活することは楽しいですか
	【保護者】お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか
	【教職員】子どもは、楽しく学校生活を送っていると思いますか

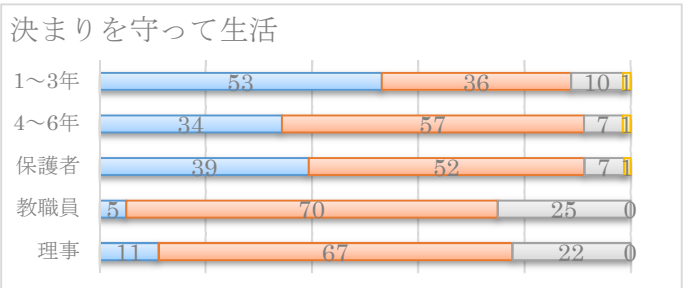
	4	3	2	1
1～3年	68	26	4	2
4～6年	69	27	4	1
保護者	47	49	4	0
教職員	35	65	0	0



下学年は94%(前年度比+8%)、上学年は96%(+5%)の児童が学校生活を楽しいと回答しています。保護者、教職員も90%以上が肯定的な回答です。「楽しくない」と感じている児童を見過ごさず学校・家庭の双方から丁寧に関わっていく必要があります。

決まり	【1～3年】学校の決まりを守って生活していますか
	【4～6年】学校の決まりを守って生活していますか
	【保護者】お子さんは、学校の決まりを守って過ごしていると思いますか
	【教職員】子どもは、学校の決まりを守って過ごしていると思いますか
	【CS理事】北小の子どもは交通安全を守って登下校できていると思いますか

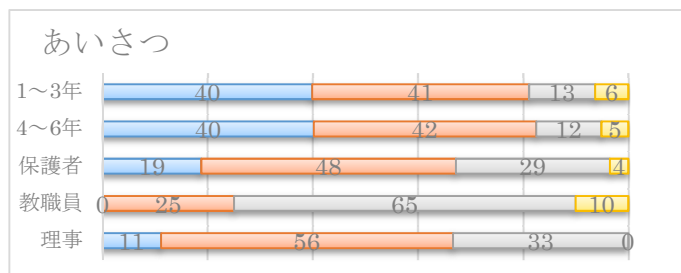
	4	3	2	1
1～3年	53	36	10	1
4～6年	34	57	7	1
保護者	39	52	7	1
教職員	5	70	25	0
CS理事	11	67	22	0



子どもたちの肯定的な回答は90%を超えています。上学年・保護者では、4より3の回答が多くなり、教職員、理事では3、2の回答が多くなっています。子ども1人ひとは「できている」という認識である一方、客観的にみると「守れていないときもある」という評価になっていると考えられます。

あいさつ	【1～3年】 地域の人に大きな声で、自分からしっかりとあいさつできていますか
	【4～6年】 地域の人に大きな声で、自分からしっかりとあいさつできていますか
	【保護者】 お子さんは、あいさつがしっかりと大きな声で言える子どもだと思いますか
	【教職員】 子どもは、あいさつがしっかりと大きな声で言えていると思いますか

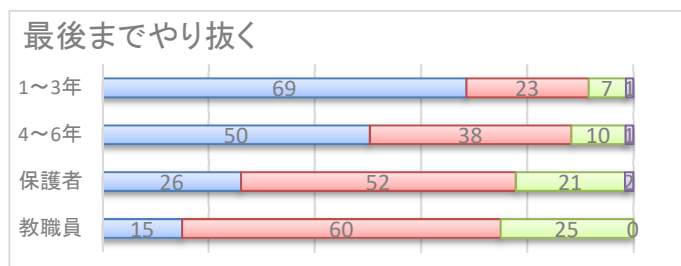
	4	3	2	1
1～3年	40	41	13	6
4～6年	40	42	12	5
保護者	19	48	29	4
教職員	0	25	65	10
CS 理事	11	56	33	0



子どもは 80%が自分からあいさつができていると回答している一方、保護者・理事は約 70%、教職員 25%にとどまり、捉え方に大きな差があります。大人の側からもあいさつをしていくなど、アプローチしていくことが大切だと考えます。

根気強さ	【1～3年】 やらなければならないことを、最後まであきらめないでやり抜きますか
	【4～6年】 やらなければならないことを、最後まであきらめないでやり抜きますか
	【保護者】 お子さんは、あきらめたりせず最後までやり抜く子どもだと思いますか
	【教職員】 子どもは、あきらめたりせず最後までやり抜く子どもだと思いますか

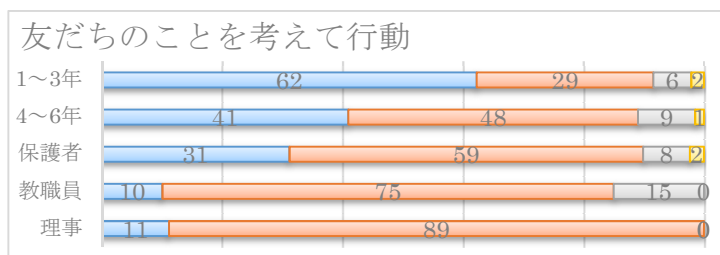
	4	3	2	1
1～3年	69	23	7	1
4～6年	50	38	10	1
保護者	26	52	21	2
教職員	15	60	25	0
CS 理事	69	23	7	1



「根気強さ」については、児童は低学年で 90%以上が、上学年で 80%以上が「最後まであきらめない」という思いを持っていることが分かります。

協調性	【1～3年】 友だちの気持ちを考えて、仲よく生活できていますか
	【4～6年】 友だちの気持ちを考えて、行動できていますか
	【保護者】 お子さんは、友だちのことを考えて行動できる子だと思いますか
	【教職員】 子どもは、友だちのことを考えて行動できる子だと思いますか

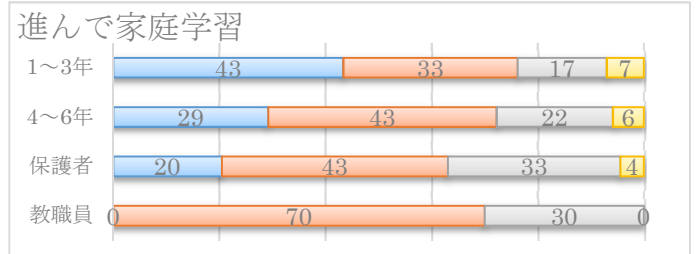
	4	3	2	1
1～3年	62	29	6	2
4～6年	41	48	9	1
保護者	31	59	8	2
教職員	10	75	15	0



下学年の子どもたちは 90%以上が行動できていると感じています。上学年の子どもたちについても、4 の回答が前年度比+12%と、経年で最も高い結果となりました。身の回りの友だち皆に対して行動していけるよう、働きかけをしていく必要があります。

家庭学習	【1～3年】 宿題・予習・復習を言われなくても、自分からできていますか
	【4～6年】 宿題・予習・復習を言われなくても、自分からできていますか
	【保護者】 お子さんは、家庭学習(宿題や予習)は、自分から進んでしていますか
	【教職員】 子どもは、家庭学習(宿題や予習)は、自分から進んでしていると思いますか

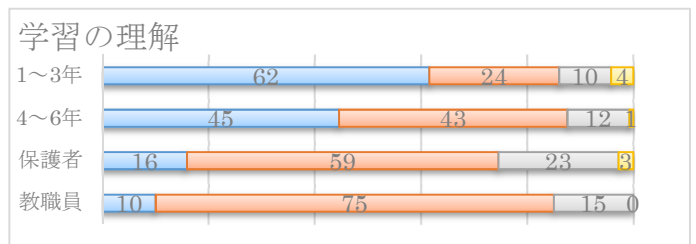
	4	3	2	1
1～3年	43	33	17	7
4～6年	29	43	22	6
保護者	20	43	33	4
教職員	0	70	30	0



自主的・自発的に学習を進めることができているかどうかです。約70%の児童が肯定的な回答をしている一方で、4の回答は保護者で20%、教職員では0%となっています。宿題はしていても、予習まで習慣化するには至っていない、宿題の習慣化ができていない子どももいるという実態があります。家庭学習の習慣化を図るためにも、継続的な声かけが必要です。

授業理解	【1～3年】学校の勉強がよくわかり、楽しいですか
	【4～6年】学校の学習・授業がよくわかり楽しいですか
	【保護者】お子さんは、授業の内容をしっかりと理解していると思いますか
	【教職員】子どもは、授業の内容をしっかりと理解していると思いますか

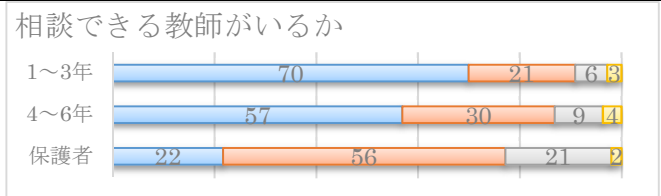
	4	3	2	1
1～3年	62	24	10	4
4～6年	45	43	12	1
保護者	16	59	23	3
教職員	10	75	15	0



下学年では9割、上学年では約8割の児童が内容を理解していると認識しています。例年と同様の傾向として、保護者・教職員の回答に「3」「2」が多く、理解はしているが十分ではない、理解できていないところがある、という児童も少なからずいるという結果です。学習がわかることが楽しさにつながるため、わかる授業、達成感のある学習活動を工夫していく必要があります。

教育相談	【1～3年】何でもお話しできる先生がいますか
	【4～6年】相談できる先生がいますか
	【保護者】お子さんは、相談できる先生がいると思いますか

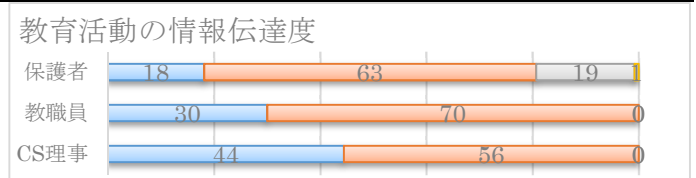
	4	3	2	1
1～3年	70	21	6	3
4～6年	57	30	9	4
保護者	22	56	21	2



児童の約90%が肯定的な回答をしています（前年比+10%）。保護者回答の約20%が否定的な回答であることを踏まえ、家庭との連携を図りつつ相談できる雰囲気づくりに務める必要があると思われます。

情報伝達	【保護者】学校は、教育活動や子どもの様子をわかりやすく伝えていきますか
	【教職員】保護者や地域に必要な情報をわかりやすく伝えていきますか
	【CS理事】学校は、保護者や地域に必要な情報をわかりやすく伝えていきますか

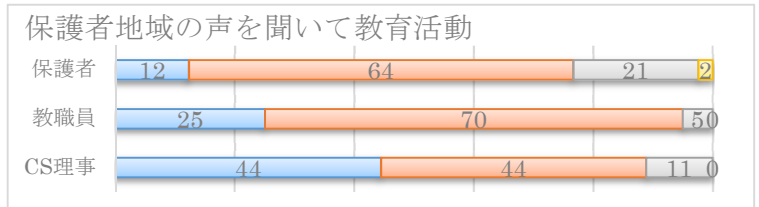
	4	3	2	1
保護者	18	63	19	1
教職員	30	70	0	0
CS理事	44	56	0	0



コロナ禍の今年度、学校からの通信に加え学校ホームページの更新により発信する側の評価は高くなっています。一方で保護者の20%は情報不足を感じている実態が見られます。

連携	【保護者】学校は、保護者や地域の声を聞いて教育活動を進めていると思いますか
	【教職員】保護者や地域の声を聞いて教育活動を進めていると思いますか
	【CS理事】学校は、保護者や地域の声を聞いて教育活動を進めていると思いますか

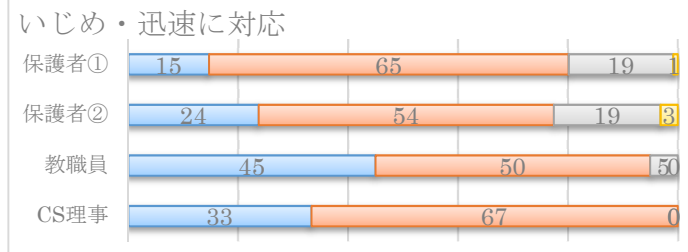
	4	3	2	1
保護者	12	64	21	2
教職員	25	70	5	0
CS理事	44	44	11	0



情報伝達と連動している内容であり、相互が子どもの姿などについてタイムリーに情報を共有できる関係づくりが大切であると考えられます。また、情報が一方通行ではなく保護者や地域からの声を届けられる工夫も必要ではないでしょうか。

迅速な対応	【保護者】①学校はいじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいると思いますか
	②学校は、子どものことを親身に考え、迅速に対応していると思いますか
	【教職員】子どものことを真剣に考え、迅速に対応していると思いますか
	【CS理事】学校は、子どものことを真剣に考え、迅速に対応していると思いますか

	4	3	2	1
保護者①	15	65	19	1
保護者②	24	54	19	3
教職員	45	50	5	0
CS理事	33	67	0	0



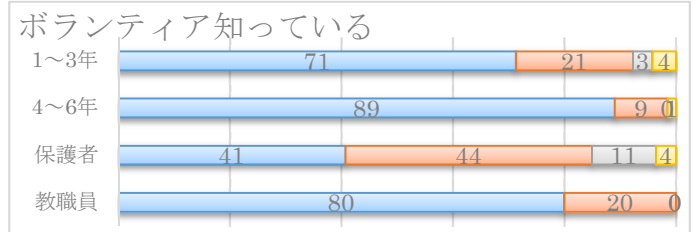
いじめや不登校への対応や諸問題への迅速な対応については、例年と同じ傾向が見られました。教職員は引き続き迅速な対応ができるよう、課題意識を持って取り組む必要があります。また、不登校の要因が多様化していることから、引き続き外部専門機関との連携を図っていくことも大切です。

2. 学校運営協議会（コミュニティスクール）、土曜日事業等について

今年度は、コロナ禍により各種事業の中止や変更が相次ぎました。そこで、過去の取組をまとめた動画を作成していただき、子どもたちはそれを視聴してからアンケートに回答しました。

ボランティア	【1～3年】ボランティアさんが、学校に来てくださっていることを知っていますか
	【4～6年】ボランティアさんが、学校に来てくださっていることを知っていますか
	【保護者】たくさんのボランティアの方が学校教育活動に参加しているのを知っていますか
	【教職員】教科の学習や行事等にボランティアが関わることは、子どもの教育に役立っていますか

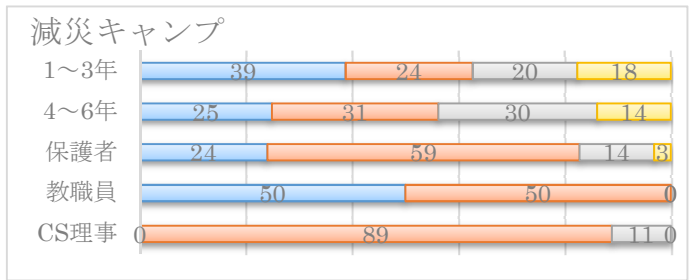
	4	3	2	1
1～3年	71	21	3	4
4～6年	89	9	0	1
保護者	41	44	11	4
教職員	80	20	0	0



臨時休校やその後の感染予防対策のため、ボランティアの活動にも大きな制約のあった今年度でしたが、認知度は低下せず、子どもたち・教職員にとって身近で欠かせない存在となっていることがわかります。

減災キャンプ	【1～3年】あなたは夏休みに行われる「減災キャンプ」に参加したいですか
	【4～6年】あなたは夏休みに行われる「減災キャンプ」に参加したいですか
	【保護者】「減災キャンプ」や「あすなるカーニバル」は子どもや保護者にとってよい活動だと思いますか
	【教職員】「減災キャンプ」や「あすなるカーニバル」は子どもや保護者にとってよい活動だと思いますか
	【CS理事】「減災キャンプ」や「あすなるカーニバル」は子どもや保護者に意義が伝わっていると思いますか

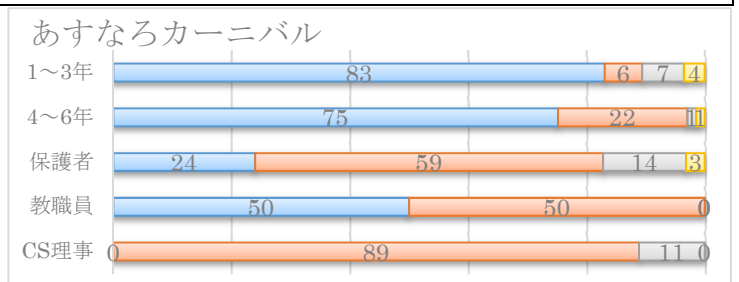
	4	3	2	1
1～3年	39	24	20	18
4～6年	25	31	30	14
保護者	24	59	14	3
教職員	50	50	0	0
CS理事	0	89	11	0



気候変動により想定を超える災害が起きている昨今、減災についての意識は高いことがわかります。参加主体である子どもたち側の興味は50～60%となっています。開催にあたっては、参加しやすい形を検討する必要があります。

カーニバル	【1～3年】あなたは、「あすなろカーニバル」を楽しい活動だと思いますか
	【4～6年】あなたは、「あすなろカーニバル」に参加したいですか
	【保護者】「減災キャンプ」や「あすなろカーニバル」は子どもや保護者にとってよい活動だと思いますか
	【教職員】「減災キャンプ」や「あすなろカーニバル」は子どもや保護者にとってよい活動だと思いますか
	【CS理事】「減災キャンプ」や「あすなろカーニバル」は子どもや保護者にとってよい活動だと思いますか

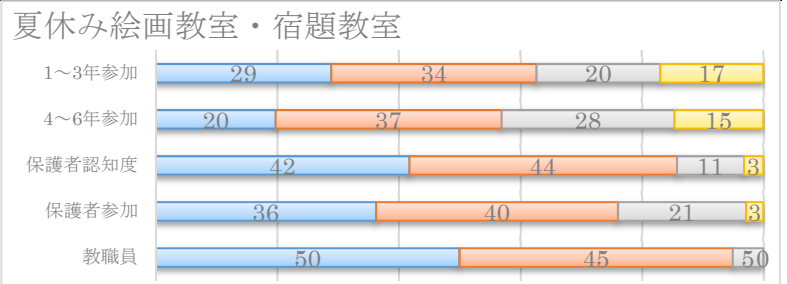
	4	3	2	1
1～3年	83	6	7	4
4～6年	75	22	1	1
保護者	24	59	14	3
教職員	50	50	0	0
CS理事	0	89	11	0



あすなろカーニバルも実施できなかった今年度でしたが、こちらは子どもたちの多くが開催や参加を希望していることがわかります。保護者の肯定的回答は83%、否定的な回答が17%でした。要因を探り、持続可能な方法や内容について検討を加えていくことも大切です。

土曜日事業	【1～3年】あなたは、「夏休み宿題教室」「絵画教室」に参加したいですか
	【4～6年】あなたは、「夏休み宿題教室」「絵画教室」に参加したいですか
	【保護者】菩提寺まちづくり協議会の土曜日事業「夏休み宿題教室」「絵画教室」等を知っていますか
	【保護者】機会があれば、お子さんを上記の教室に参加させたいですか
	【教職員】菩提寺まちづくり協議会の土曜日事業の活動内容を知っていますか

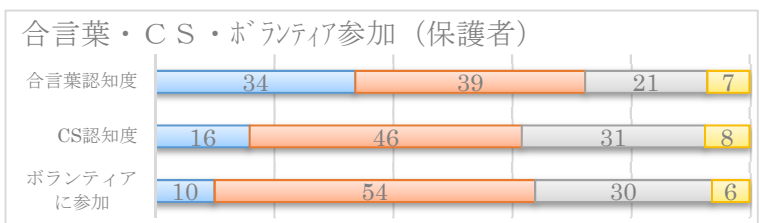
	4	3	2	1
1～3年	29	34	20	17
4～6年	20	37	28	15
保護者	42	44	11	3
保：参加	36	40	21	3
教職員	50	45	5	0



今年度は、夏休み絵画教室と門松づくり、お書き初めの実施となりました。休日の過ごし方が多様化しているため一概には言えませんが、事業について保護者のニーズは高いことがわかります。

保護者認知度・意識	【保護者】あなたは、学校の合言葉「あいさつにはじまり夢をつくる学校」を、知っていますか
	【保護者】あなたは、学校運営協議会(コミュニティスクール)の活動を知っていますか。
	【保護者】機会があれば、学校へボランティアとして協力や支援をしたいと思いませんか

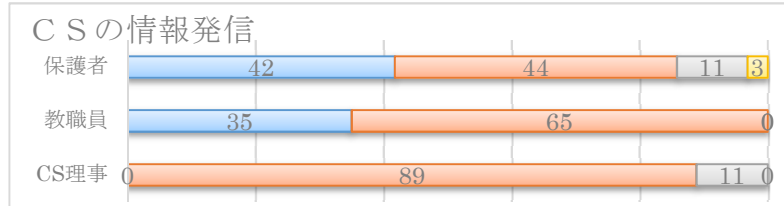
	4	3	2	1
合言葉認知度	39	24	20	18
CS認知度	25	31	30	14
ボランティア参加	24	59	14	3



保護者の学校運営協議会（コミュニティスクール）についての認知度は上がっている（前年度+6%）ものの、ボランティア参加への意欲については例年と同様の結果となりました。2を3に、3を4にするためには、在宅や時間を問わない等、多様なボランティア活動の場を用意する工夫も必要と思われます。

CS情報発信	【保護者】学校運営協議会は、取組や活動をわかりやすく伝えてありますか
	【教職員】学校運営協議会は、取組や活動を保護者や地域の人にわかりやすく伝えてありますか
	【CS理事】学校運営協議会は、取組や活動を保護者や地域の人にわかりやすく伝えてありますか

	4	3	2	1
保護者	42	44	11	3
教職員	35	65	0	0
CS理事	0	89	11	0

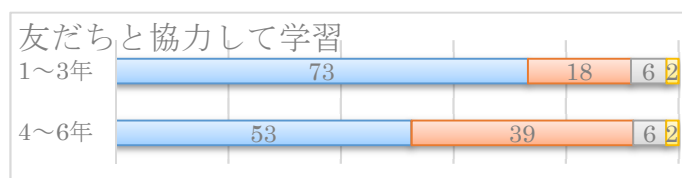


今年度より、理事会後にCS通信を作成し、配布いただいています。活動に関する認知度は徐々に向上しています。理事会は事前に申し出れば傍聴できますので、そうした機会もご検討ください。

3. 今の自分について

協働	【1～3年】あなたは、友だちと協力して、勉強や活動をするのが好きですか？
	【4～6年】あなたは、進んで友だちと協力して、学習や活動をしますか？

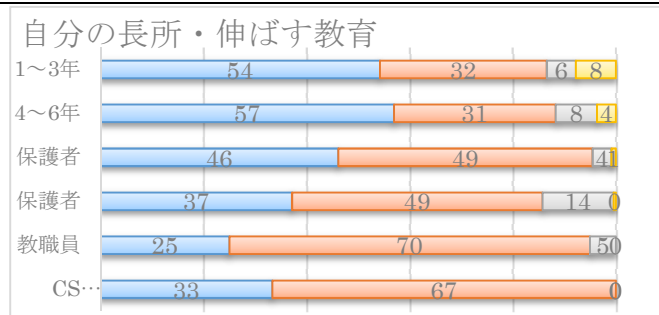
	4	3	2	1
1～3年	73	18	6	2
4～6年	53	39	6	2



2ヶ月に及ぶ臨時休校や、その後の「新しい生活様式」に則った学習の影響か、今年度はこれまで最も4の回答が多い結果となりました。今後も更に協働的な学びを充実していくことが大切です。

長所認知	【1～3年】あなたは、じぶんによいところがあるとおもいますか
	【4～6年】あなたは、自分に良い所、得意なことがあると思いますか
	【保護者】あなたはお子さんの得意なこと、好きなことを知っていますか
	【保護者】あなたのお子さんは、自分の良いところを知っていますか
伸ばす教育	【教職員】学校は、児童の良いところを伸ばす教育を行っていると思いますか
	【CS理事】学校は、児童の良いところを伸ばす教育を行っていると思いますか

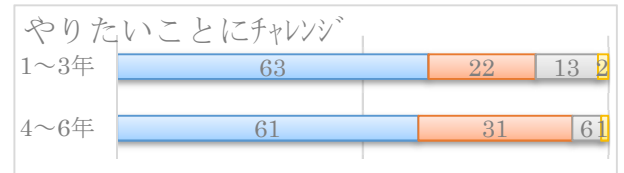
	4	3	2	1
1～3年	54	32	6	8
4～6年	57	31	8	4
保護者	46	49	4	1
保護者	37	49	14	0
教職員	25	70	5	0
CS理事	33	67	0	0



児童は上学年、下学年ともに4の回答が多く、80%以上が自分のよいところを自覚しています。保護者についても、子どもの得意なことや好きなことを知っている、子どもが自分の長所を自覚していると捉えている回答が多く、家庭で日常的にこうした会話がなされていることが結果となって表れていると考えられます。できていることを認め、自信を高めることで自尊感情を高め、自分も他人も大切にすることを育てることは非常に重要です。学校、家庭が連携して実践していく必要があります。

挑戦意欲	【1～3年】「やりたいな」「できそうだな」と思ったことに進んで取り組みますか？
	【4～6年】「やりたいな」「できそうだな」と思ったことにチャレンジしますか？

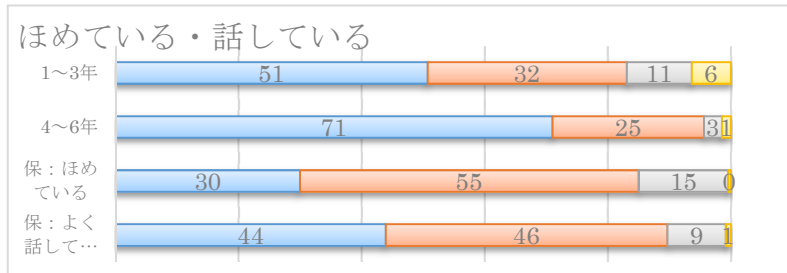
	4	3	2	1
1～3年	63	22	13	2
4～6年	61	31	6	1



「チャレンジ精神」を問う設問です。9割程度の児童が、「進んで取り組む」と回答しています。引き続き、学校でも家庭でも、チャレンジしてよかった、できた、という達成感、成就感が得られるような学習活動や日常生活を展開していくことが大切です。

賞賛 自尊感情	【1～3年】あなたは、おうちの人からよくほめられますか
	【4～6年】あなたは、家の人からよくほめられますか
会話	【保護者】あなたは、お子さんの良いところをほめていると思いますか
	【保護者】あなたは日頃からお子さんと話す機会は多い方だと思いますか

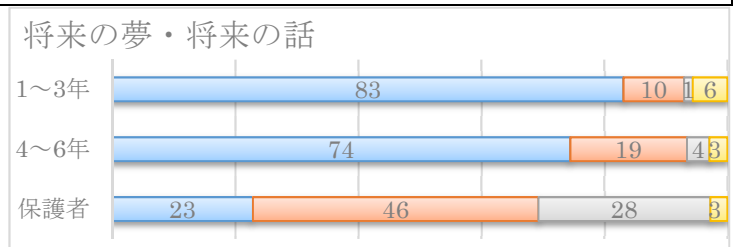
	4	3	2	1
1～3年	51	32	11	6
4～6年	71	25	3	1
保：褒めている	30	55	15	0
保：話している	44	46	9	1



保護者からほめられている子どもが例年より大きく増加しました。昨年に比べ親子で在宅だった期間が長かったことを考えると、ステイホームの時間が長くなり、子どもたちの家の中での行動を、保護者が評価し、ほめていることが奏功しているとも考えられます。これからも、がんばっている姿を捉えて励ましたり認めたりすることを大切にしてほしいと考えます。

将来の夢	【1～3年】あなたは、じぶんのゆめを、はっきりといえますか？
	【4～6年】あなたは、今、夢を持っていますか？
	【保護者】あなたは、お子さんと、将来についてよく話をしますか。

	4	3	2	1
1～3年	83	10	1	6
4～6年	74	19	4	3
保護者	23	46	28	3



夢作文の取組が定着し、数字となって表れています。一方保護者回答については前年度より若干肯定的な回答が減りました。夢＝将来の仕事、というだけではなく、なぜその仕事をしたいのか、ということも親子で話せるようにしたいですね。

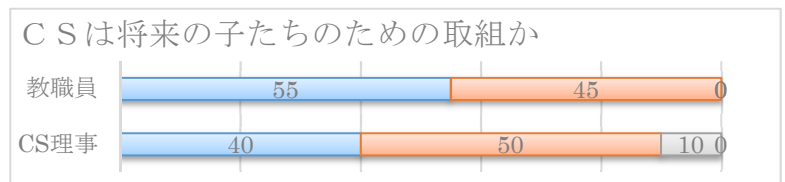
夢指導	【教職員】学校は、子どもの夢に関わる教育について指導していると思いますか。
	【CS理事】学校は、「夢」に関わる教育について指導していると思いますか。

	4	3	2	1
教職員	25	55	20	0
CS理事	22	67	11	0



CSの 取組	【CS理事】 学校運営協議会は、将来の子どもたちのための取組を行っていると思いますか
	【教職員】 学校運営協議会は、将来の子どもたちのための取組を行っていると思いますか

	4	3	2	1
教職員	55	45	0	0
CS理事	40	50	10	0



最後は教職員、CS理事への設問です。夢に関わる教育は、「キャリア教育」として発達段階に応じて取り組んできているものです。単なる「将来の夢」(仕事)としてだけではなく、それにつながる生き方にまで考えを深めていくことが必要となっています。夢につながる様々な力を身に付けることができるよう、家庭、学校、地域が一体となり、コミュニティースクールとしての歩みを更に進めていきたいと思ひます。

終わりに

今年度の未来委員会アンケートには、「どんな学校をつくりたいか」という記述欄を設けました。たくさんコメントをいただいていますのでその中からご紹介します。なお、ご心配なことやお困りのこと等について寄せていただいたご意見は、CS通信などを通じてできる限りお答えしてまいります。

○子どもたちの考える「こんな学校にしたい」

笑顔／なかよし／楽しい／協力／思いやりのある／夢いっぱい／あいさつできる／いじめなし／けんかなし

○保護者の考える「こんな学校にしたい」

- ・自分の良さに気づき、自他を大切にできる学校。
- ・地域との交流をもち、人々と関わりながら学ぶ学校、地域ぐるみで子どもを見られる地域にしたい。
- ・皆が安心して通える学校。
- ・あいさつができ、いじめや不登校がない学校。
- ・あいさつができるように元気よく声をかけていきたい。
- ・個性を認め合える学校。
- ・学年を超えた交流のある学校。たてわり活動等。
- ・楽しく、決まりを守れる子どもたちが通う学校。
- ・子どもも保護者も気軽に先生に相談できる学校。

○理事

- ・CSの各種行事は「全ての人の命と安全を守る」ことを念頭に実施していきたい。
- ・CSの取組に、子どもが参加できる仕組みがあってもよいのでは。
- ・アンケートで保護者や子どもたちの意見をくみ取りながらできる範囲で活動し、通信で発信していく。
- ・交通安全など、子どもたちの命に関わる課題を行事に盛りこみ、学べる機会を設けては。
- ・CSは人と人とのつながりの大切さを学べる場をつくっていくことを中心に活動していく。

○教職員

- ・地域と密に連携できる学校。(地域の皆様に日頃大変支えられています。ありがとうございます)
- ・子どもと保護者、保護者同士のつながりをつくる学校。

このアンケート結果をうけて、CS理事会にて今後の「学校づくり」について検討してまいります。検討した結果については、CS通信「いいね通信」にてご紹介いたしますので、そちらもぜひご覧ください。また、本結果および「いいね通信」につきましては、学校HPからもご覧いただくことができます。最後までお読みくださり、ありがとうございました！